

高知県知事

濱田省司様

要 望 書

令和8年2月

四国観光議員連盟

令和8年2月24日

高知県知事 濱田 省司 様

四国観光議員連盟 会長 岡田 理絵



徳島県議会観光振興議員連盟	会長	岡田 理絵
香川県議会観光議員連盟	会長	十河 直
愛媛県議会観光・文化振興議員連盟	会長	大西 誠
高知県観光産業振興議員連盟	会長	加藤 漠

四国の観光振興に関する要望について

私たち「四国観光議員連盟」は、四国4県議会の有志が連携して、国内外に向けて積極的な観光客誘致に取り組み、四国地域の活性化とさらなる広域交流を図るため、平成20年5月に、四国4県の県議会議員をもって設立し、四国が一つになって活動を行ってきたところであります。

四国には、多様な自然や「四国遍路」に代表される歴史、伝統文化など多彩な資源があります。特に、「四国遍路」は、八十八箇所霊場を巡る全長1,400kmに及ぶ壮大な寺院巡礼で、古くから一般庶民の間に定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれる支援により支えるという貴重な文化であり、千年を超えて現在に継承されています。

「四国遍路」は、日本国内、更には世界的に見ても、顕著な普遍的価値のあるもので、人類全体の生きた文化資産として、将来の世代へ引き継いでいくべきであり、世界文化遺産にふさわしいものと考えています。

当議員連盟では、「四国遍路」の世界遺産への早期登録のための認知度向上に向け、既に世界文化遺産に登録されている「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」のあるスペイン・ガリシア州との交流を図っていくことは、大きな力となるものと考えており、平成27年9月、四国4県がスペイン・ガリシア州と世界遺産登録に向けての協力協定を締結したことは大変心強く思っております。

「四国遍路」が世界遺産に登録されれば、「お遍路さん」の増加が見込まれ、四国の観光産業の活性化にも寄与できるものと期待しております。

そこで、下記の事項について、格段の御支援と御高配を賜りますようお願い致します。

記

「四国遍路」の世界遺産への早期登録のための認知度向上に向けた世界文化遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」のあるスペイン・ガリシア州との交流に引き続き取り組んでいただきたい。

令和8年2月24日

高知県知事 濱田 省司 様

四国観光議員連盟 会長 岡田 理絵



徳島県議会観光振興議員連盟	会長	岡田 理絵
香川県議会観光議員連盟	会長	十河 直
愛媛県議会観光・文化振興議員連盟	会長	大西 誠
高知県観光産業振興議員連盟	会長	加藤 漠

四国の観光振興に関する要望について

私たち「四国観光議員連盟」は、四国4県議会の有志が連携して、国内外に向けて積極的な観光客誘致に取り組み、四国地域の活性化と更なる広域交流を図るため、平成20年5月に、四国4県の県議会議員をもって設立し、四国が一つになって活動を行ってきたところであります。

国においては、平成28年に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、大胆な取り組みを進めた結果、令和7年の訪日外国人旅行者数は約4,268万人を記録し、過去最高を更新するなど、観光需要は順調に回復しております。

このような中、四国では、「眉山」、「UDON」、「県庁おもてなし課」などの映画や「坂の上の雲」、「らんまん」、「あんぱん」などのテレビドラマの効果により、確実に観光客数が増加しているところです。

観光振興において、情報発信は大きな役割を担っており、四国が舞台やロケ地となった映画やテレビドラマは、全国・世界に向けて四国の魅力を発信する絶好の機会になります。

こうしたロケ地観光を新しい観光資源として近隣の観光資源と連携すれば、地域全体が厚みのある観光地となり、映画ファンなど新しい観光客を開拓することにもなり、観光地域のブランド化にもつながるものと考えております。

そこで、下記の事項について、格段の御支援と御高配を賜りますよう要望致します。

記

- 1 フィルムコミッションによる映画やテレビドラマのロケ地の誘致及び地域資源の魅力の発信強化について、なお一層の取り組みをお願いしたい。
- 2 四国ゆかりの偉人や文化人等（例：鳥居龍蔵・きみ子夫妻、三好長慶、大久保謙之丞、玉椿象谷、十河信二、ジョン万次郎、寺田寅彦等）を題材とした映画化やドラマ化の実現に向けたPR及び誘致活動の推進をお願いしたい。
- 3 ロケ地等をつなぐ四国周遊観光ルートの形成などの企画支援を行っていただきたい。

令和8年2月24日

高知県知事 濱田 省司 様

四国観光議員連盟 会長 岡田 理絵



徳島県議会観光振興議員連盟	会長	岡田 理絵
香川県議会観光議員連盟	会長	十河 直
愛媛県議会観光・文化振興議員連盟	会長	大西 誠
高知県観光産業振興議員連盟	会長	加藤 漠

四国の観光振興に関する要望について

私たち「四国観光議員連盟」は、四国4県議会の有志が連携して、国内外に向けて積極的な観光客誘致に取り組み、四国地域の活性化とさらなる広域交流を図るため、平成20年5月に、四国4県の県議会議員をもって設立し、四国が一つになって活動を行ってきたところであります。

国においては、平成28年に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、大胆な取り組みを進めた結果、令和7年の訪日外国人旅行者数は約4,268万人を記録し、過去最高を更新するなど、観光需要は順調に回復しております。

このような中、豊かな自然や食に恵まれ、遍路文化が根付く四国の新たな魅力として、「サイクリングアイランド四国」を実現するため、四国4県、四国ツーリズム創造機構、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、四国アライアンス及び四国旅客鉄道株式会社で構成する「サイクリングアイランド四国推進協議会」では、オール四国体制で、国内外からのサイクリスト誘客に向けたプロモーション活動や、サイクリストの受入環境整備等に取り組んでおります。また、令和9年5月には、愛媛県で世界最大級の自転車国際会議 Velo-city が日本で初めて開催される予定であり、加えて、令和9年度内に大鳴門自転車道の完成も見込まれるなど、今後、より多くのサイクリストが四国へ来訪するものと期待を膨らませております。

しかしながら、四国一周サイクリングをはじめ、各県が有する地域のサイクリングルートや周遊など、サイクルツーリズムの推進に当たり、サイクリスト受入環境の充実等について、サイクリストから多くの要望が寄せられております。

そこで、四国を世界に誇れるサイクリングアイランドに育て上げ、サイクルツーリズムを通じた更なる交流人口の拡大を図るため、下記の事項について、格段の御支援と御高配を賜りますようお願い致します。

記

- 1 レンタル・シェアサイクル施設の設置充実
- 2 宿泊施設における受入環境の整備
- 3 サイクリストのための休憩施設「サイクルオアシス」の充実
- 4 誰もが安全に安心して走れる路面環境の整備
- 5 安全で快適なサイクリングルートについての情報発信の推進